

送 辞

冬の寒さも心持ち和らぎ、北国の春が待ち遠しい今日この頃、卒業生の皆様は、それぞれに始まる新しい生活に向け、心躍らせ、夢と希望に満ち溢れていることと拝察いたします。

本来であれば、学位記授与式という人生の節目である輝かしい晴れ舞台で、「北翔大学・北翔大学短期大学部、北翔大学大学院を旅立たれる皆様、ご卒業・ご修了おめでとうございます。在学生一同、心よりお祝い申し上げます。」と、在校生を代表して声高らかに送辞を述べさせていただくところでした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止から、やむなく式が中止となってしまいました。三月十八日を心待ちにされていた皆様の心中をお察し申し上げますとともに、このような形で、お祝いの言葉を申し上げなければならぬことをたいへん残念に思っております。

さて、今、皆様は、北翔大学に入学してから今日までの日々をどのように振り返っていらっしゃるのでしょうか。入学までとは全く違う学生生活に戸惑いながらも、毎日の講義や部活動、サークル活動などを通して、多くの人々と出会い、時には笑い時には悲しみ、多くの経験があったからこそ、有意義な学生生活を送ることができたのではないかと考えております。常に私たち後輩の前を歩む皆様には、多くの場面で助けていただきました。様々な悩みに親身になって寄り添い、アドバイスを与えていただいたことも多々ありました。皆様と過ごした時間はわずかでしたが、一人一人が目標に向かって邁進する姿や、常に場の雰囲気大切にしながら、ここぞという時には、難関にも真摯に向き合い、懸命に突破する姿に心打たれたこともありました。社会人になってからも、困難な壁が行く手を阻むことがあるかと思えます。どんな時でも、北翔大学で学んだことを活かして、必ず乗り越えられることを、私たち在校生は信じております。

結びになりますが、今日まで私たちを導き、応援していただいたことに心から感謝申し上げますとともに、皆様のご健康とご活躍を祈念し、送辞とさせていただきます。

ご卒業・ご修了誠にありがとうございます。

令和二年三月十八日

在学生代表 北翔大学学生自治会
中央執行副委員長 田島 日和